

額装のアイデア!

2016年11月15日

最近、野外撮影がペースダウンしている。理由はより良い出会いが無いからだ。その出会いとは鮭のジャンプです。

鮭シーズン迎えているのに撮影場所が失われ、好条件の深さの場所が泥で変貌した、それに今シーズンは不漁という。そうすると残せるのは以前の作品に限定される。実は以前から部屋に飾れる写真額を探していた。

我が家の部屋には多くの写真が展示されている、しかし写真展の払い下げで本来の部屋仕様でない、木製パネルを使用したものである。木製フレームの写真額もあるが月並みで面白くない。

日曜大工では木製を選べない、看板用アルミ枠を裁断して組む予定している。目安はつけているがまとめ買いしてから選択の誤りに気付くと大変だ。

今回はためしで既製品に挑戦する。丁度良いアルミフレーム額を見つけて購入をした。サイズはA1(594x841mm)、アルミの厚さは1.2^{ミリ}、フレームの厚さ33^{ミリ}、カラーはブラック。ポスター用のアルミフレーム額とは違う、高級アルミアレーム額と宣伝しているものだ。

価格は1万円ほど、プラやガラスは付いていない。マットもなく全面貼り仕様だ。前面側は作品の周りに3^{ミリ}のアルミ縁がでる、前面と表現したのには訳がある、裏面も利用する。つまり両面仕様で二枚の写真が楽しめる。両面とも裏打ちにアルミ複合板を使用する。

アルミフレーム額で加工次第では裏が可能なものを見つけた。ヤッター! 額や写真を後世に残すには耐久性が大事、幸いにもインクは室内で50年は持つという。

前面の写真は鮭のジャンプ、まともすぎる嫌いがあるが例えば、① 県展の部門賞作品、裏面はうしろで鮭を狙っている設定で、② オオワシと決めている。

両面額は珍品になるだろう! 発想は店舗の看板や天井吊りのポスターであった。価格は一枚仕様程度に抑えたい。

もう一つ狙っているのは三面鏡式、巾2.4^{メートル}の大型額である。③ オオワシの等身大を三面一杯に使う。センターは倍の60x120^{センチ}にする。60x60^{センチ}のある両端をたたむと裏側から二枚の写真で、④ オオワシと⑤ 鮭がセンター面を覆う⑥ センター裏にも鮭の写真、全部で四枚の写真が楽しめる。両面仕様にする壁でも天井吊りにでもできる、ただし家庭向きのサイズはない、ホールのような場所が良いだろう。

写真は撮影するだけではもったいない、発表してもまだ不足、工夫した額装で終りとなろう、持論だ!



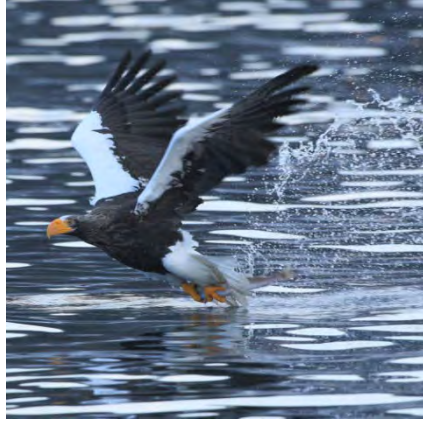
①



②



③



④



⑤



⑥